

公益財団法人堺市文化振興財団堺市立梅文化会館管理運営規則

平成 18 年 9 月 1 日制定

(趣旨)

第 1 条 この規則は、堺市立文化会館条例（昭和 59 年条例第 8 号。以下「条例」という。）、堺市立梅文化会館指定管理者協定書（基本協定書）（以下「協定書」という。）を踏まえ、堺市立梅文化会館（以下「梅文化会館」という。）の管理及び運営について必要な事項を定める。

(開館時間及び休館日)-根拠法令 条例第 24 条第 1 項第 2 号-

第 2 条 梅文化会館の開館時間は、午前 9 時から午後 10 時までとする。ただし、理事長が特に必要があると認めるときは、堺市の承認を得て、これを変更することがある。

2 梅文化会館の休館日は、次のとおりとする。ただし、理事長が特に必要があると認めるときは、堺市の承認を得て、休館日を変更し、又は臨時に休館し、若しくは開館することがある。

(1) 月曜日

(2) 12 月 30 日から翌年の 1 月 4 日までの日

(使用の申込み及び許可)-根拠法令 条例第 24 条第 1 項第 1 号-

第 3 条 梅文化会館の使用の許可を受けようとする者は、堺市立梅文化会館使用申込書（ホールにあっては様式第 1 号（甲）、ホール以外の施設にあっては様式第 1 号（乙））を理事長に提出しなければならない。

2 前項の規定による申込みは、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める日から受け付けるものとする。ただし、理事長において特に必要があると認めるときは、当該各号に規定する受付開始日前においても、申込みを受け付けることができる。

(1) ホール、集会室等（ホールを使用する場合に限る。） 使用しようとする日の 11 か月前の日の属する月の初日。

(2) その他 使用しようとする日の 5 か月前の日の属する月の初日。

3 使用許可は、第 9 条第 4 項に定める場合を除き、使用料の納付があった後、堺市立梅文化会館使用許可書（ホールは様式第 2 号（甲）、ホール以外の施設にあっては様式第 2 号（乙））を申込者に交付して行う。

4 理事長は、会館の使用を許可する場合において、管理上必要があると認めるときは、条件を付けることができる。

(使用期間)-根拠法令 条例第 24 条第 1 項第 1 号-

第 4 条 会館の施設等を連続して使用することができる期間は、次に定める期間とする。ただし、理事長において特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(1) ホール、楽屋 7 日

(2) その他 5 日

(開館を繰り上げて使用する場合)-根拠法令 条例第 23 条第 2 項-

第 4 条の 2 ホール等（別表第 1 第 2 項の表の種別欄に掲げる施設をいう。以下同じ）は、ホールの使用目的の準備に限りあらかじめ許可を得て第 2 条第 1 項の開館時間を繰り上げて使用することができる（午前 8 時から午前 9 時までの間に限る。）。

2 前項の規定により開館時間を繰り上げてホール等を使用しようとする者は、第3条第1項の規定による申請の際に、その旨を申し出なければならない。

(使用の制限等)-根拠法令 条例第24条第1項第1号-

第5条 理事長は、条例第4条第2項第1号から第2号までに規定する場合のほか、次の各号のいずれかに該当するときは、会館の使用を許可せず、若しくは使用許可を取り消し、その使用を制限若しくは停止し、又は退去を命ずることができる。

- (1) 専ら物品の販売のために使用するとき。
- (2) 条例又はこの規則に違反したとき。
- (3) 使用許可の条件に違反したとき。
- (4) 前各号に掲げるもののほか、会館の管理上支障があり、理事長が不相当であると認めるとき。

2 前項の規定による使用許可の取り消し、使用の制限若しくは停止又は退去により使用者に損害が生じても、当財団はその責めを負わない。

(使用許可の順位)

第6条 使用許可の順位は、使用の申込みを受理した順位による。ただし、理事長が公益上特に必要があると認めるときは、この限りでない。

(使用許可書の提示義務)

第7条 使用許可を受けた者(以下「使用者」という。)は、その使用中、第3条第3項の規定により交付を受けた使用許可書を携帯し、係員から求められたときは、いつでもこれを提示しなければならない。

(使用許可の変更)-根拠法令 条例第24条第1項第1号-

第8条 使用者は、許可を受けた事項を変更しようとするときは、使用しようとする日前7日まで(ホールにあっては使用しようとする日前1か月まで)に堺市立梅文化会館使用許可変更申請書(様式第3号)に使用許可書を添付して理事長に提出しなければならない。

2 理事長は、前項の規定による申請があった場合において、やむを得ない理由があると認めるときは、1回に限り、使用許可の変更を承認するものとする。

3 前2項の規定にかかわらず、理事長は、使用日当日に生じた後片付けなどの特別な理由により使用者がホールの使用時間の超過(午後10時から午後11時までの間に限る。)を申請した場合であって、特にやむを得ない理由があると認めるときは、当該超過に係る使用許可の変更を承認することができる。

4 第2項の規定にかかわらず、理事長は、天災地変その他使用者の責めに帰さない事故があった場合において、使用許可を変更して会館を使用させることが適当であると認めるときは、当該使用者の申出により当該使用許可の変更を承認することができる。この場合において、当該申出は、第1項の申請書により行わなければならない。

5 理事長は、前3項の規定により使用許可の変更を承認したときは、使用許可書を訂正の上、使用者に交付するものとする。

(使用料)-根拠法令 条例第23条第2項及び第4項-

第9条 理事長の定める額は、別表第1のとおりとする。

2 使用者は、前項の使用料を前納しなければならない。

- 3 使用者は、別表第2に定める使用料を前納して附属設備を使用することができる。
- 4 前2項の使用料は、国又は地方公共団体が使用する場合で、かつ理事長がやむを得ない理由があると認めるときに限り、後納させることができる。
- 5 理事長は、前条の規定により使用許可の変更を承認したときは、既納の使用料を変更後の使用許可に係る使用料(以下「変更後の使用料」という。)の全部又は一部に充てることができる。この場合において、既納の使用料に残額が生じたときは当該残額を還付しないものとし、変更後の使用料に不足額が生じたときは当該不足額を直ちに使用者に追加納付させるものとする。
- 6 前項後段の規定にかかわらず、前条第4項の規定により使用許可の変更をした場合において、既納の使用料に残額が生じたときは、当該残額を還付するものとする。

(使用料の還付)-根拠法令 条例第23条第6項

第10条 既納の使用料は、還付しない。ただし、理事長において特別の理由があると認める場合及びその還付額は、次のとおりとする。

- (1) 天災地変その他使用者の責めに帰さない理由により使用できなくなったとき。 既納の使用料の全額
 - (2) 使用者が使用しようとする日前7日まで(ホールにあっては使用しようとする日前1か月まで)に使用の取消しを申し出て、その理由が認められたとき。 既納の使用料の半額
- 2 第3条第2項ただし書きの規定により受理した申込みの場合、又は第8条第2項の規定により使用許可の変更を承認した場合は、前項第2号の規定は適用しない。

3 第1項の規定により使用料の還付を受けようとする者は、堺市立梅文化会館使用料還付申請書(様式第4号)に使用許可書を添付して、理事長に提出しなければならない。

(使用者の遵守事項)

第11条 使用者は、条例に定めるもののほか、次の事項を遵守しなければならない。

- (1) 収容人員が使用する施設の定員を超えないこと。
- (2) 許可を受けないで物品の販売等をしないこと。
- (3) 所定の場所以外で飲食し、又は火気(喫煙を含む。)を使用しないこと。
- (4) 許可を受けないで会館内にはり紙、くぎ打ち等をしないこと。
- (5) 許可を受けていない施設、附属設備等を使用しないこと。
- (6) 許可を受けないで附属設備等を所定の場所以外に持ち出さないこと。
- (7) 使用する施設の入場者に次条に定める事項を遵守させること。
- (8) 前各号に掲げるもののほか、係員から指示されたこと。

(入館者の遵守事項)

第12条 入館者は、次の事項を遵守しなければならない。

- (1) 騒音、放歌、暴力等他人に迷惑をかける行為をしないこと。
- (2) 所定の場所以外で飲食し、又は火気(喫煙を含む。)を使用しないこと。
- (3) 所定の場所以外に出入しないこと。
- (4) 館内を不潔にしないこと。

(5) 前各号に掲げるもののほか、係員から指示されたこと。

(入館の制限)

第 13 条 理事長は、次の各号のいずれかに該当する者については、梅文化会館への入館を拒絶し、又は退館を命ずることができる。

(1)他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑となる物品若しくは動物の類（盲導犬及び介助犬を除く。）を携行する者

(2)公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあると認められる者

(3)その他文化会館の管理上支障があると認められる者

(施設等の破損等の届出)

第 14 条 使用者及び入館者は、会館の施設、附属設備等を破損し、又は滅失したときは、直ちに破損(滅失)届(様式第 5 号)により理事長に届け出て、その指示を受けなければならない。

(使用終了の届出)

第 15 条 使用者は、会館の使用を終えたときは、直ちに係員に届け出て、その検査を受けなければならない。

(特別の設備)

第 16 条 使用者は、特別の設備を設けようとするときは、あらかじめ理事長の許可を受けなければならない。

2 理事長は、会館の管理上必要があると認めるときは、使用者に対して特別の設備を設けることを命ずることができる。

3 前 2 項の設備は、使用許可の期限までに使用者の負担において撤去し、原状に復さなければならない。

4 理事長は、使用者が前項の義務を履行しないときは、使用者に代わって執行し、その費用を使用者から徴収することができる。

(保証金)

第 17 条 理事長は、使用者が前条第 1 項又は第 2 項の規定により特別の設備を設けるときは、当該使用者から保証金を徴収することができる。ただし、国又は地方公共団体その他理事長が特に認めた公共的団体については、この限りでない。

2 前項の保証金の額は、当該設備の撤去及び原状回復に要する費用に相当する額とする。

3 保証金は、使用の終了後、使用者に還付する。ただし、未納の賠償金その他があるときは、その額を保証金から控除した金額を還付する。

4 保証金には、利子を付けない。

(施設予約システムを使用する場合の特例)

第 18 条 施設予約システム(文化施設等の利用関係の調整等管理運営に係る事務について電子計算機を利用して処理する体系をいう。以下同じ。)を用いて行う使用の申込及び許可、許可の変更並びに使用料の還付に係る手続等については、第 3 条第 1 項、第 2 項、第 3 項、第 8 条第 1 項及び第 10 条第 3 項の規定にかかわらず、理事長が別に定める。

2 施設予約システムを用いて仮予約(使用の申込み前に仮に施設の使用を予約する行為であって、その予約の日の翌日から起算して 7 日以内に申込みを行わな

ければ、その効力を失うものをいう。以下同じ。)を行う場合は、当該仮予約を
使用の申込みとみなして第6条の規定を適用する。

(委任)

第19条 この規則に定めるもののほか、母文化会館の管理及び運営について必要
な事項は、副理事長が定める。

附 則

この規則は、平成18年9月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

この規則は、平成20年7月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

この規則は、平成21年1月15日から施行する。

附 則

(施行期日)

この規則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成27年11月1日から施行する。

(適用区分)

2 改正後の別表第1の規定は平成28年4月1日以降の使用に係る使用料につい
て適用するものとし、平成28年3月31日以前の使用に係る使用料については、
なお従前の例による。

附 則

この規則は、平成29年1月6日から施行する。

(施行期日)

- 1 この規則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。
(適用区分)
- 2 この規則による改正後の規定は、この規則の施行の日以後の利用に係る使用料等から適用し、同日前の利用に係る使用料等については、なお従前の例による。

別表第1
 利用料金
 (1) 基本料金

(単位 円)

種別\時間区分		午前	午後	夜間	昼間	昼夜間	全日
		午前9時から正午まで	午後1時から午後5時まで	午後6時から午後10時まで	午前9時から午後5時まで	午後1時から午後10時まで	午前9時から午後10時まで
ホール	平日	12,750	21,700	25,500	34,450	47,200	59,950
	平日(使用しようとする日の2ヶ月前の日以後における申込で舞台のみの使用)	3,800	6,480	7,610	10,280	14,090	17,890
	土曜日、日曜日及び休日(以下「休日等」という。)	15,320	25,500	30,650	40,820	56,150	71,470
	土・日・休日(使用しようとする日の2ヶ月前の日以後における申込で舞台のみの使用)	4,520	7,610	9,150	12,130	16,760	21,280
集会室等	第1講座室	3,800	6,370	6,370	10,170	12,740	16,540
	第2講座室	1,330	2,160	2,570	3,490	4,730	6,060
	第3講座室	920	1,440	1,740	2,360	3,180	4,100
	第4講座室	920	1,440	1,740	2,360	3,180	4,100
	第1会議室	1,330	2,160	2,570	3,490	4,730	6,060
	第2会議室	920	1,440	1,740	2,360	3,180	4,100
	研修室	1,330	2,160	2,570	3,490	4,730	6,060
	視聴覚室	1,950	3,180	3,800	5,130	6,980	8,930
	音楽室	1,950	3,180	3,800	5,130	6,980	8,930
	料理室	1,950	3,180	3,800	5,130	6,980	8,930
	陶芸室	1,950	3,180	3,800	5,130	6,980	8,930
	和室1	610	1,130	1,330	1,740	2,460	3,070
	和室2	610	1,130	1,330	1,740	2,460	3,070
	楽屋(洋室)	300	510	610	810	1,120	1,420
	楽屋(和室)	300	510	610	810	1,120	1,420

特別に電気その他を使用するときは、実費を徴収する。

(2) 第4条の2第1項の規定によるホール等の使用時間の繰り上げに係る使用料及び第8条第3項の規定によるホール等の使用時間の超過に係る使用料

(単位 円)

種別	使用料	
ホール	平日	6,370
	休日等	7,660
研修室	640	
視聴覚室	950	

音楽室	950
楽屋(洋室)	150
楽屋(和室)	150

ホール以外の施設は、ホールと同時に使用しようとする場合に限り使用できるものとする。

(3) 使用料の加算及び減算の条件並びに割合の設定

次の表に基づき使用料を加算、減算する。

条件	使用料	備考
市外居住者（法人その他の団体又は事業所にあつては、その所在地が本市の区域外に存するもの）が使用するとき	基本料金にその5割を加算（10円未満切り捨て）	
利用者が入場料その他これに類するものを徴収するとき、又は物品の展示販売その他営利を目的とする行為を行うとき	基本料金にその5割を加算（10円未満切り捨て）	営利を目的とする個人・団体が使用する場合は、「その他営利を目的とする行為を行うとき」に該当し、加算する
ホールを練習や準備のために使用するとき	基本料金の7割を徴収（10円未満切り捨て）	使用しようとする日の2ヶ月前の日以後の申込による使用で、舞台のみ使用する場合を除く
使用しようとする日の2ヶ月前の日以後の申込による使用で、ホールの舞台のみ使用するとき	(1)基本料金の表に記載のとおり	練習に限る

備考 1 使用区分毎に予約した場合と2使用区分もしくは3使用区分通し予約した場合に同額とならない場合があるため、「昼間」「昼夜間」「全日」の使用区分に対し、加算減算を行う場合は総額に対し対象となる割合を乗じる。

別表第2

附属設備使用料金

種別\区分	器具名等	数量	料金	備考
舞台設備	反響板	1式	3,080	人件費は別
	スクリーン	1式	1,020	
	ピアノ	1台	8,220	調律料は別
	ピアノ (使用しようとする日の2ヶ月前の日以降における申込で舞台のみの使用)	1台	2,460	調律料は別
	指揮台	1台	300	譜面台付き
	所作台	1式	5,140	人件費は別
	平台	1式	2,050	
	演台	1台	510	

	譜面台	1 台	100		
	金びょうぶ	1 双	2,050		
	ひもうせん	1 式	510		
	あかね	1 式	510		
照明 設備	Aセッ ト	シーリングスポットライト	1 組	7,200	
		ボーダーライト	2 列		
		フロントスポットライト	2 組		
		フォロースポットライト	2 台		
	Bセッ ト	シーリングスポットライト	2 組	12,340	
		ボーダーライト	4 列		
		フロントスポットライト	4 組		
		フォロースポットライト	2 台		
		シーリングスポットライト	1 組	2,460	
		フロントスポットライト	1 組	1,020	
		クセノンピンスポットライト	1 台	3,080	
		フォロースポットライト	1 台	1,020	
		スポットライト 500W	1 台	300	
		スポットライト 1kW	1 台	510	
	フットライト	1 列	610		
	ボーダーライト	1 列	1,020		
	アッパーホリゾンライト	1 列	1,230		
	ローアホリゾンライト	1 列	1,230		
	効果器	1 台	1,230		
音響 設備	レコードプレーヤー	1 台	1,020	レコードは別	
	テープレコーダー	1 台	2,050	テープは別	
	カセットデッキ	1 台	1,020	テープは別	
	マイクロホン	1 本	1,020		
	ワイヤレスマイク	1 チャン ネル	2,050		
	はねかえりスピーカー	1 式	2,050		
	拡声装置	1 式	4,110		
その他の 設備	シャワー室	1 室	510		

備考

1. 本表の使用料金は、午前、午後及び夜間の使用区分ごとに 1 回として計算する。
2. その他本表において使用料金を規定していないものに係る使用については、実費を徴収する。

様式第1号(甲)

堺市立梅文化会館使用申込書

堺市立梅文化会館指定管理者公益財団法人堺市文化振興財団理事長 殿

年 月 日

申 込 者	住所(所在地)	
	法人名又は団体名	
	氏名(代表者氏名)	ふりがな
	生年月日	
	電話番号	

堺市立文化会館条例、堺市立文化会館条例施行規則及び公益財団法人堺市文化振興財団堺市立梅文化会館管理運営規則を遵守することを誓約し、同規則第3条第1項の規定により、次のとおり文化会館の使用を申し込みます。

*許 可	年 月 日	第 号			
使 用 日	年 月 日(曜)から	第1回目	時 ~ 時		
	年 月 日(曜)まで	第2回目	時 ~ 時		
	(日間)	第3回目	時 ~ 時		
使用目的					
表示名称					
内 容	題名				
	主な出演者又は講師名				
	1 演劇 2 映画 3 音楽 4 舞踊 5 講演 6 その他	出 委 演 託 等 先	住 所		
			氏 名		
			電 話		
		対 象 者 (一般・関係者)	入 場 人 員 (人)	入 場 料 (有・無 円)	
使 用 設					
使 用 備					
そ の 他 必 要 事 項	準備打合せ 月 日 時頃				
会 場 責 任 者	住 所	電話番号 氏 名			

注1 *印の箇所は、記入しないでください。

2 使用時間は、全て24時間制で記入してください。

申請に当たっては、次の内容をご確認のうえ、□にレを記入してください。

利用に当たっては、堺市立文化会館条例等の法令及び施設管理者の指示を遵守し、節度ある施設の利用を約束します。

- 秩序又は風俗を乱す行為や施設等を破損する等の行為を行わないことを誓約します。
準備と後片付けは、使用時間内に行うことを約束します。
 - 堺市暴力団排除条例に基づき、本利用が暴力団の利益となる活動に該当すると認められるときは、使用を許可されず、許可を取り消されても異議のないことを誓約します。
- 注意：堺市暴力団排除条例に基づき、申請内容等の確認のため必要に応じて、関係機関に申請者の住所、氏名等申請書に記載されている情報を提供することがあります。
- 団体申請の場合は、役員名簿等の提出を求めることがあります。

様式第1号(乙)

堺市立梅文化会館使用申込書

申込日 年 月 日

堺市立梅文化会館指定管理者公益財団法人堺市文化振興財団理事長 殿

堺市立文化会館条例、堺市立文化会館条例施行規則及び公益財団法人堺市文化振興財団堺市立梅文化会館管理運営規則を遵守することを誓約し、同規則第3条第1項の規定により、次のとおり文化会館の使用を申し込みます。

申 込 者	住 所(所在地)		
	法人名又は団体名		
	氏名(代表者氏名)	(ふりがな)	生年月日
電 話 番 号			
会 場 責 任 者	氏 名		
	電 話 番 号		

	使用日及び使用時間	使用室名	使用目的	対象者・利用予定人数
		使用設備等	表示名称	入 場 料
1	年 月 日()			一般・関係者 人
	時～ 時			無・有 円
2	年 月 日()			一般・関係者 人
	時～ 時			無・有 円
3	年 月 日()			一般・関係者 人
	時～ 時			無・有 円
4	年 月 日()			一般・関係者 人
	時～ 時			無・有 円
5	年 月 日()			一般・関係者 人
	時～ 時			無・有 円

申請に当たっては、次の内容をご確認のうえ、□にレを記入してください。

- 利用に当たっては、堺市立文化会館条例等の法令及び施設管理者の指示を遵守し、節度ある施設の利用を約束します。
- 秩序又は風俗を乱す行為や施設等を破損する等の行為を行わないことを誓約します。
準備と後片付けは、使用時間内に行うことを約束します。
- 堺市暴力団排除条例に基づき、本利用が暴力団の利益となる活動に該当すると認められると

きは、使用を許可されず、許可を取り消されても異議のないことを誓約します。
注意：堺市暴力団排除条例に基づき、申請内容等の確認のため必要に応じて、関係機関に申請者の住所、氏名等申請書に記載されている情報を提供することがあります。
団体申請の場合は、役員名簿等の提出を求めることがあります。

様式第 2 号 (甲)

堺市立梅文化会館使用許可書

年 月 日

住所(所在地)

法人名又は団体名

氏名(代表者氏名) 様

堺市立梅文化会館の使用を次のとおり条件を付して許可します。

堺市立梅文化会館指定管理者

公益財団法人堺市文化振興財団

理事長 印

許可	年 月 日	第 号	使用許可条件(基本的事項)
使用 期日	年 月 日 (曜)から	第 1 回目 時～ 時	
	年 月 日 (曜)まで	第 2 回目 時～ 時	
	(日間)	第 3 回目 時～ 時	
使用 目的			
表示 名称			
内容	1 演	題名	

劇 2 映画 3 音楽 4 舞踊 5 講演 6 その他	主な出演者又は講師名			<p>ださい。</p> <p>5 会館の施設及び附属設備は、善良な管理者の注意をもって使用してください。もし当該施設等を破損し、又は滅失したときは損害を賠償していただくことになります。</p> <p>6 所定の場所以外で飲食し、又は火気(喫煙を含む。)を使用しないでください。</p> <p>7 催し物等に係るポスター類の取扱いについては、事前に係員と相談してください。</p> <p>8 非常口、消火設備等の周りには、物を置かないでください。</p> <p>9 堺市立文化会館条例又は公益財団法人堺市文化振興財団堺市立梅文化会館管理運営規則の各規定その他係員の指示に違反したときは、使用許可を取り消し、その使用を制限し、若しくは停止し、又は退去を命ずることがあります。この場合において、使用者に損害が発生しても、本市は、その責めを負いません。</p> <p>10 前各項のほか、管理上必要があると認めるときは、条件を付けることがあります。</p>	
	委託先	住所			
		出演等	氏名		
			電話		
	対象者 (一般・関係者)	入場人員 (人)	入場料 (有・無円)		
	使用施設				
使用設備					
その他必要事項	準備打合せ 月 日 時頃				
会場責任者	住所	電話番号	氏名		

様式第2号(乙)

堺市立梅文化会館使用許可書

申込日 年 月 日

堺市立梅文化会館の使用を下記条件を付して許可します。

堺市立梅文化会館指定管理者

公益財団法人 堺市文化振興財団

理事長 印

申込者	住所(所在地)				
	法人名又は団体名				
	氏名(代表者氏名)	様	会場責任者	氏名	様
	電話番号			電話番号	

	許可番号	使用日及び使用時間	使用室名	使用目的	対象者・利用予定人数
			使用設備等	表示名称	入場料
1	第号	年月日()			一般・関係者人
		時～時			無・有 円
2	第号	年月日()			一般・関係者人
		時～時			無・有 円
3	第号	年月日()			一般・関係者人
		時～時			無・有 円
4	第号	年月日()			一般・関係者人

		時～ 時			無・有 円
5	第号	年月日()			一般・関係者人
		時～ 時			無・有 円

使用許可条件(基本的事項)

- 1 準備と後片付けは、使用時間内にしてください。
- 2 この使用許可書は、常に携帯し、係員が要求するときは、これを提示してください。
- 3 許可なく、使用内容を変更しないでください。変更しようとするときは、使用許可の変更の申請を行ってください。ただし、やむを得ない事情があると認められるとき以外は、使用許可の変更は認めません。
- 4 使用权を譲渡し、他人に使用させ、又は許可なく使用目的以外に使用しないでください。
- 5 会館の施設及び附属設備は、善良な管理者の注意をもって使用してください。もし、当該施設等を破損し、又は滅失したときは、損害を賠償していただくこととなります。
- 6 所定の場所以外で飲食し、又は火気(喫煙を含む。)を使用しないでください。
- 7 催し物等に係るポスター類の取扱いについては、事前に係員と相談してください。
- 8 非常口、消火設備等の周りには、物を置かないでください。
- 9 堺市立文化会館条例又は公益財団法人堺市文化振興財団堺市立梅文化会館管理運営規則の各規定その他係員の指示に違反したときは、使用許可を取り消し、その使用を制限し、若しくは停止し、又は退去を命ずることがあります。この場合において、使用者に損害が発生しても、本市は、その責めを負いません。
- 10 前各項のほか、管理上必要があると認めるときは、条件を付けることがあります。

様式第 3 号

堺市立梅文化会館使用許可変更申請書

年 月 日

堺市立梅文化会館指定管理者

公益財団法人 堺市文化振興財団

理事長 殿

申請者 住所(所在地)

法人名又は団体名

氏名(代表者名)

電話番号

次のとおり堺市立梅文化会館の使用許可を変更して下さるよう、公益財団法人堺市文化振興財団堺市立梅文化会館管理運営規則第 8 条第 1 項の規定により、使用許可書を添えて申請します。

1 使用許可番号	年 月 日付け 第 号		
2 変更事項	変更前	変更後	
(1) 使用予定日時	年 月 日 時から 時まで	年 月 日 時から 時まで	
(2) 使用予定施設			
3 変更の理由			
堺市処理欄	変更後の金額	円	照合者

	既納額	円
	差額	円
	既納額照合	年 月 日納入

注 1 再度の変更はできません。

2 使用許可の変更の承認後、当該使用許可の取消しがあっても、使用料の還付はできません（公益財団法人堺市文化振興財団堺市立榎文化会館管理運営規則第8条第4項に規定する天災地変等に伴うものを除く。）。

様式第 4 号

堺市立榎文化会館使用料還付申請書

年 月 日

堺市立榎文化会館指定管理者

公益財団法人 堺市文化振興財団

理事長 殿

申請者 住所(所在地)

法人名又は団体名

氏名(代表者名) 印

電話番号

次のとおり既納の使用料を還付して下さるよう、公益財団法人堺市文化振興財団堺市立榎文化会館管理運営規則第 10 条第 3 項の規定により、申請します。

使用許可	年 月 日付け 第 号	
還付の理由		
* 既納の使用料	円	備考
* 還付額	円	

注 *印の欄は、記入しないでください。

様式第 5 号

破損(滅失)届

年 月 日

堺市立梅文化会館指定管理者

公益財団法人 堺市文化振興財団

理事長 殿

届出人 住所(所在地)

法人名又は団体名

氏名(代表者名) 印

電話番号

下記のとおり堺市立梅文化会館の施設、附属設備等を破損(滅失)しましたので、公益財団法人堺市文化振興財団堺市立梅文化会館管理運営規則第 14 条の規定により、届け出します。

については、堺市立文化会館条例第 10 条第 2 項第 1 号の規定により、ご指示の方法によって賠償いたします。

記

- 1 破損(滅失)の日時
- 2 破損(滅失)の箇所又は物件
- 3 破損(滅失)の内容又は程度

* 賠償年月日	年 月 日
* 指示賠償額	円
* 賠償額	円

注 *印の欄は、記入しないでください。